



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月14日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゼットン

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲本健一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 森 充

TEL 03-6416-3120

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	3,407	0.4	258	62.1	243	78.6	112	40.7
23年2月期第2四半期	3,393	12.8	159	—	136	—	80	—

(注) 包括利益 24年2月期第2四半期 —百万円 (—%) 23年2月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	2,866.05	2,808.58
23年2月期第2四半期	2,067.40	2,025.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	3,576	748	20.9	17,754.23
23年2月期	2,776	523	18.8	13,509.76

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 748百万円 23年2月期 523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年2月期	—	0.00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	0.5	240	20.0	220	20.2	110	7.8	2,840.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年2月期2Q	42,179 株	23年2月期	38,727 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年2月期2Q	— 株	23年2月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年2月期2Q	39,308 株	23年2月期2Q	38,727 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により不安定な状態となっていた国民生活や経済活動が徐々に回復しているものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、原発問題等による不安から、従来以上に「食」に対する安全意識が高まり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、既存店におきましては夏季におけるプロモーションに注力し、当第2四半期連結会計期間（6月～8月）の既存店売上高は、前年同期比105.5%となりました。（当第2四半期連結累計期間としては前年同期比94.9%）

また、出店コストを抑え投資対効果を高めた「ALOHA TABLE」及び夏季限定店舗の積極展開は、出店初年度から好調に推移いたしました。

なお、店舗運営コスト及び本社経費の低減に取り組むことで、利益率の改善にも努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,407百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は258百万円（同62.1%増）、経常利益は243百万円（同78.6%増）、四半期純利益は112百万円（同40.7%増）となり、過去最高の増収増益となりました。

店舗数におきましては、直営店3店舗、F C店1店舗の新規出店により、当第2四半期連結累計期間末（平成23年8月31日現在）にて、直営店49店舗（国内47店舗、海外2店舗）、F C店3店舗の計52店舗となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①公共施設開発事業

東日本大震災の影響等により、「横浜マリントワー」、「ガーデンレストラン徳川園」、「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」等のプライダル事業併設店舗を中心に、売上高が伸び悩みましたが、夏季限定店舗、既存のオープンテラス店舗は好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,532百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は216百万円（同13.3%減）となりました。

②商業店舗開発事業

夏季限定店舗の売上拡大、「ALOHA TABLE」を中心とした既存店舗も順調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,873百万円（同5.6%増）、営業利益は281百万円（同30.3%増）となりました。

③プランニング&コンサルティング事業

グラフィックデザインの製作、コンサルティング等により、当事業における売上高は2百万円（同13.3%減）、営業損失は38百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ800百万円増加し、3,576百万円となりました。これは主に、現金及び預金が623百万円、店舗拡大により売掛金が107百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ574百万円増加し、2,828百万円となりました。これは主に、有利子負債が219百万円、買掛金が161百万円、資産除去債務が51百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ225百万円増加し、748百万円となりました。これは主に利益剰余金が112百万円、第三者割当増資により資本金及び資本準備金が94百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ619百万円増加し、1,030百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、449百万円（前年同期は361百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益234百万円、仕入債務の増加額161百万円、減価償却費113百万円の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、115百万円（前年同期は144百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出73百万円、差入保証金の差入による支出30百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、287百万円（前年同期は163百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加額217百万円、株式の発行による収入91百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において平成23年6月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出しております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ2,099千円減少し、税金等調整前四半期純利益は19,932千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は51,047千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,042,854	419,240
売掛金	235,317	128,165
商品	926	1,163
原材料及び貯蔵品	68,917	61,092
前払費用	53,853	39,678
繰延税金資産	15,595	17,654
その他	26,607	17,779
貸倒引当金	△2,384	△10,014
流動資産合計	1,441,687	674,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,410,315	1,397,367
工具、器具及び備品（純額）	157,085	152,576
リース資産（純額）	114,963	110,256
建設仮勘定	4,519	—
その他（純額）	220	269
有形固定資産合計	1,687,105	1,660,469
無形固定資産	25,137	28,533
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	3,100
出資金	1,010	1,010
長期前払費用	3,445	3,721
差入保証金	326,071	298,164
繰延税金資産	85,538	106,913
その他	3,859	201
貸倒引当金	△21	—
投資その他の資産合計	423,004	413,112
固定資産合計	2,135,247	2,102,115
資産合計	3,576,934	2,776,876

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	413,201	251,357
短期借入金	217,600	—
1年内返済予定の長期借入金	391,876	353,732
リース債務	37,002	32,266
未払金	169,172	125,692
未払費用	206,969	159,540
未払法人税等	115,338	75,084
未払消費税等	32,348	50,813
前受金	92,707	63,927
資産除去債務	4,881	—
その他	16,229	17,624
流動負債合計	1,697,326	1,130,040
固定負債		
長期借入金	989,377	1,031,187
リース債務	87,710	87,032
資産除去債務	46,653	—
その他	7,011	5,424
固定負債合計	1,130,752	1,123,644
負債合計	2,828,078	2,253,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,355	330,890
資本剰余金	300,558	253,093
利益剰余金	88,749	△23,911
株主資本合計	767,662	560,072
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△18,806	△36,879
評価・換算差額等合計	△18,806	△36,879
純資産合計	748,855	523,192
負債純資産合計	3,576,934	2,776,876

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	3,393,688	3,407,811
売上原価	1,012,767	999,412
売上総利益	2,380,921	2,408,399
販売費及び一般管理費	2,221,627	2,150,142
営業利益	159,293	258,257
営業外収益		
受取利息	491	1,125
協賛金収入	5,843	13,348
その他	2,064	2,466
営業外収益合計	8,399	16,940
営業外費用		
支払利息	21,583	15,813
株式交付費	—	3,851
為替差損	7,348	10,872
その他	2,476	1,258
営業外費用合計	31,408	31,796
経常利益	136,285	243,401
特別利益		
固定資産売却益	15,018	—
貸倒引当金戻入額	998	8,738
特別利益合計	16,016	8,738
特別損失		
固定資産除却損	193	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,833
特別損失合計	193	17,833
税金等調整前四半期純利益	152,108	234,306
法人税、住民税及び事業税	52,187	98,211
法人税等調整額	19,857	23,434
法人税等合計	72,044	121,646
四半期純利益	80,064	112,660

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	1,824,426	2,049,954
売上原価	535,951	588,919
売上総利益	1,288,475	1,461,034
販売費及び一般管理費	1,176,031	1,228,960
営業利益	112,443	232,073
営業外収益		
受取利息	393	323
協賛金収入	3,612	8,627
その他	866	2,082
営業外収益合計	4,873	11,033
営業外費用		
支払利息	10,400	8,267
株式交付費	—	3,851
為替差損	8,328	9,477
その他	1,405	546
営業外費用合計	20,134	22,143
経常利益	97,182	220,963
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	655
特別利益合計	—	655
特別損失		
固定資産除却損	193	—
特別損失合計	193	—
税金等調整前四半期純利益	96,988	221,619
法人税、住民税及び事業税	28,836	92,822
法人税等調整額	14,520	△3,741
法人税等合計	43,356	89,081
四半期純利益	53,631	132,537

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	152,108	234,306
減価償却費	116,663	113,703
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,833
のれん償却額	1,771	1,464
貸倒引当金の増減額(△は減少)	591	△7,609
受取利息及び受取配当金	△491	△1,125
支払利息	21,583	15,813
為替差損益(△は益)	7,348	10,872
株式交付費	—	3,851
有形固定資産売却損益(△は益)	△15,018	—
固定資産除却損	193	—
売上債権の増減額(△は増加)	△129,778	△108,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,060	△7,588
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△30,965	△19,959
仕入債務の増減額(△は減少)	98,861	161,844
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,736	△18,465
その他の流動負債の増減額(△は減少)	150,312	122,295
その他の固定負債の増減額(△は減少)	5,840	△787
その他	4,993	13,772
小計	389,690	531,301
利息及び配当金の受取額	488	1,124
利息の支払額	△21,255	△15,895
法人税等の支払額	△6,959	△66,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,964	449,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△161,118	△73,534
有形固定資産の売却による収入	22,050	—
無形固定資産の取得による支出	△500	—
定期預金の預入による支出	—	△3,600
貸付けによる支出	△300	△5,680
貸付金の回収による収入	1,065	1,028
差入保証金の差入による支出	△22,694	△30,225
差入保証金の回収による収入	17,284	10
その他	34	△3,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,178	△115,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△60,000	217,600
長期借入れによる収入	100,000	185,000
長期借入金の返済による支出	△193,431	△188,666
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,385	△17,086
株式の発行による収入	—	91,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,816	287,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,924	△2,913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,045	619,587
現金及び現金同等物の期首残高	472,780	410,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	516,825	1,030,445

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月16日付で、尾家産業株式会社、株式会社NSK、キーコーヒー株式会社、株式会社マルト水谷から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が47百万円、資本準備金が47百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末において資本金が378百万円、資本準備金が300百万円となっております。